三省堂『高等学校国語総合 古典編 改訂版』(国総337)評価規準例資料

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 音読することによって古典の言葉のリズムを感じ取る。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 古典の響き | 配当時間 | 1 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　ア  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項　ア(ｱ)イ(ｱ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 音読することで，美しい言葉の響きを味わおうとする。 | 繰り返し音読することで，言葉の響きを味わおうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | それぞれの作品が描いているテーマを読み取る。 | それぞれの作品が描いている情景や心情を読み取っている。 | 行動の分析 |
| 知識・理解 | 歴史的仮名遣いが現代仮名遣いと異なることを理解する。 | 表記と読みとに違いがあることを理解している。 | 行動の観察 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうと  する。 | 文学的な文章を，文章の種類や類型，書きぶりの違いなどを踏  まえて読もうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでい  る。 | 文学的な文章を，文章の種類や類型，書きぶりの違いなどを踏  まえて読んでいる。 | 行動の分析 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解している。 | 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，我が国の言語文化の  独自の性格やその価値に気付いている。 | 行動の観察 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 古典を学ぶことの意義について考え，古典への興味・関心を広げる。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 竹西寛子「古典を読むということ」 | 配当時間 | 1 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　オ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 古典を学んでいくことの意義を考え，古典への興味・関心  を広げようとする。 | 古典を学んでいくことの意義を考え，古典への興味・関心を広  げようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 古典を読むことの意義に対する書き手の考えを捉える。 | 古典を読むことの意義に対する書き手の考えを捉えている。 | 行動の分析 |
| 知識・理解 | 古典を読み，古典を知ることの意義を理解する。 | 古典に触れ，そこから刺激を得ることの意義を理解している。 | 行動の観察 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 伝統的な言語文化への興味・関心を広げようとしている。 | 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，我が国の言語文化の  独自の性格やその価値に気付こうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の構成や展開を確かめ，書き手の意図を捉えている。 | 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け，なぜこの文  章を書いたのか，なぜこのように書いたのかなどに迫っている。 | 行動の分析 |
| 知識・理解 | 国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割  などを理解している。 | 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，我が国の言語文化の  独自の性格やその価値に気付いている。 | 行動の観察 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 歴史的仮名遣いや古文の語彙・文法の基本を学ぶとともに，描かれた人間像や和歌をめぐるやりとりを理解し，古文の世界に親しむ。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 説話（古文入門）  　児のそら寝／絵仏師良秀／大江山 | 配当時間 | 3 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　イ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項　ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろう  とする。 | 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとし  ている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取る。 | 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ってい  る。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 歴史的仮名遣いと用言について理解する。 | 歴史的仮名遣いと用言について理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言による評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。 | 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違  いなく，過不足なく読み取ろうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。 | 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違  いなく，過不足なく読み取っている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。 | 古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 物語の展開を，語句や表現に即して理解するとともに，当時の習俗について学ぶ。 | | |
| 言語活動 | 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。〔Ｃの(2)イ〕 | | |
| 教材名 | 竹取物語 | 配当時間 | 2 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　イ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとする。 | 語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 語句や表現に即して物語の展開を読み取る。 | 語句や表現に即して物語の展開を読み取っている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 基本的な助動詞について理解する。 | 基本的な助動詞について理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。 | 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違  いなく，過不足なく読み取ろうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。 | 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違  いなく，過不足なく読み取っている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。 | 古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 登場人物の心理を，状況や行動に即して理解し，歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を学ぶ。 | | |
| 言語活動 | 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。〔Ｃの(2)イ〕 | | |
| 教材名 | 伊勢物語 | 配当時間 | 3 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　ウ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 登場人物の心理を読み取り，歌を通して歌物語の特徴を理  解しようとする。 | 登場人物の心理を読み取り，歌を通して歌物語の特徴を理解し  ようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 登場人物の心理を読み取り，歌を通して歌物語の特徴を理  解する。 | 登場人物の心理を読み取り，歌を通して歌物語の特徴を理解し  ている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 歌物語の特徴について理解する。 | 歌物語の特徴について理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み  味わおうとする。 | 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，異なる立  場から読み深めようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み  味わっている。 | 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，異なる立  場から読み深めている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解している。 | 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，作品一つ一つに表れ  ている個性と価値に気付いている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 筆者の人間観や自然観，美意識などを読み取り，その特色を理解するとともに，自分自身の考え方を深め，視野を広げる。 | | |
| 言語活動 | 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。〔Ｃの(2)イ〕 | | |
| 教材名 | 徒然草 | 配当時間 | 3 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　イ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方  を深めようとする。 | 内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方を深  めようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方  を深める。 | 内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方を深  めている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 基本的な助詞について理解する。 | 基本的な助詞について理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容を必要に応じて要約しようとする。 | 目的に応じて，文章全体をまとめようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容を必要に応じて要約している。 | 目的に応じて，文章全体をまとめている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。 | 古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 文学的意義を知り，表現の特色を学ぶとともに，当時の制度，風習や旅の様子，作者の心情を理解する。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 土佐日記 | 配当時間 | 2 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　ウ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 表現や当時の風習などを踏まえつつ，作者の心情を理解し  ようとする。 | 表現や当時の風習などを踏まえつつ，作者の心情を理解しよう  としている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 表現や当時の風習などを踏まえつつ，作者の心情を理解す  る。 | 表現や当時の風習などを踏まえつつ，作者の心情を理解してい  る。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 作品の文学的意義を理解する。 | 作品の文学的意義を理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の構成や展開を確かめ，内容や表現の仕方について評  価しようとする。 | 文章の構成や展開を確かめ，情景や心情が効果的に表現できて  いるかどうかを考察しようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の構成や展開を確かめ，内容や表現の仕方について評  価している。 | 文章の構成や展開を確かめ，情景や心情が効果的に表現できて  いるかどうかを考察している。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解している。 | 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，作品一つ一つに表れ  ている個性と価値に気付いている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 朗読を通して語り物としての魅力を感じ，軍記物語の特徴を知るとともに，生死に直面した人間の行動を通して，人間とは何かを考  える。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 平家物語 | 配当時間 | 3 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　ア  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 朗読を通して文体を味わい，内容を踏まえて人間の生き方  についての考えを深めようとする。 | 朗読を通して文体を味わい，内容を踏まえて人間の生き方につ  いての考えを深めようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 朗読を通して文体を味わい，内容を踏まえて人間の生き方  についての考えを深める。 | 朗読を通して文体を味わい，内容を踏まえて人間の生き方につ  いての考えを深めている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 敬語の基本について理解する。 | 敬語の基本について理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうと  する。 | 文学的な文章を，表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫  を捉えて読もうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでい  る。 | 文学的な文章を，表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫  を捉えて読んでいる。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。 | 古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 和歌の基本を学び，その表現の特色や時代による変遷を知る。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 | 配当時間 | 2 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　ウ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 和歌の響きを味わい，込められた思いを読み取るとともに，  時代による違いを理解しようとする。 | 和歌の響きを味わい，込められた思いを読み取るとともに，時  代による違いを理解しようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 和歌の響きを味わい，込められた思いを読み取るとともに，  時代による違いを理解する。 | 和歌の響きを味わい，込められた思いを読み取るとともに，時  代による違いを理解している。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 和歌の特徴と表現技法について理解する。 | 和歌の特徴と表現技法について理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み  味わおうとする。 | 人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのか  を捉え，言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み  味わっている。 | 人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのか  を捉え，言葉の美しさや深さに気付いている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解している。 | 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，我が国の言語文化の  独自の性格やその価値に気付いている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 筆者の旅への思いや，旅先でのさまざまな体験や感動を読み味わうとともに，俳句・俳文について基本的なことがらを理解する。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 奥の細道 | 配当時間 | 2 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　ウ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 筆者の思いや感動を読み取り，俳句を味わおうとする。 | 筆者の思いや感動を読み取り，俳句を味わおうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 筆者の思いや感動を読み取り，俳句を味わう。 | 筆者の思いや感動を読み取り，俳句を味わっている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 俳句の基本について理解する。 | 俳句の基本について理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み  味わおうとする。 | 人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのか  を捉え，言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み  味わっている。 | 人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのか  を捉え，言葉の美しさや深さに気付いている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解している。 | 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，我が国の言語文化の  独自の性格やその価値に気付いている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 話の状況を理解した上で登場人物の心理を捉え，歌論に示された和歌をめぐる話のおもしろさを理解する。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 俊頼髄脳 | 配当時間 | 1 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　ウ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 和歌に込められた思いを読み取るとともに，平安時代の  宮中の様子を理解しようとする。 | 和歌に込められた思いを読み取るとともに，平安時代の宮中  の様子を理解しようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 話の状況を理解し，和歌に込められた詠み手の心情を読  み取る。 | 話の状況を理解し，和歌に込められた詠み手の心情を読み取  っている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 敬語を通して人物関係を把握する。 | 敬語を通して人物関係を把握している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読  み味わおうとする。 | 人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているの  かを捉え，言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読  み味わっている。 | 人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているの  かを捉え，言葉の美しさや深さに気付いている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係に  ついて気付き，伝統的な言語文化について理解している。 | 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，我が国の言語文化  の独自の性格やその価値に気付いている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 話の展開を正確に捉えるとともに，登場人物の言動から心情を理解する。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 無名抄 | 配当時間 | 1 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　ウ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 登場人物の言動を整理することによって，そこに見られ  る心理や和歌への姿勢を理解しようとする。 | 登場人物の言動を整理することによって，そこに見られる心  理や和歌への姿勢を理解しようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 話の展開を正確に捉え，登場人物の心情や和歌への姿勢  を読み取る。 | 話の展開を正確に捉え，登場人物の心情や和歌への姿勢を読  み取っている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 敬語を通して人物関係を把握する。 | 敬語を通して人物関係を把握している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読  み味わおうとする。 | 人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているの  かを捉え，言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読  み味わっている。 | 人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているの  かを捉え，言葉の美しさや深さに気付いている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係に  ついて気付き，伝統的な言語文化について理解している。 | 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，我が国の言語文化  の独自の性格やその価値に気付いている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 筆者の主張を理解した上で分かりやすく説明するとともに，文学史的なことがらについて理解する。 | | |
| 言語活動 | 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。〔Ｃの(2)イ〕 | | |
| 教材名 | うひ山ぶみ | 配当時間 | 1 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　イ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 筆者の主張を読み取り，それを分かりやすく説明しようと  する。 | 筆者の主張を読み取り，それを分かりやすく説明しようとして  いる。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 筆者の主張を読み取り，それを分かりやすく説明する。 | 筆者の主張を読み取り，それを分かりやすく説明している。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 筆者に関する文学史的なことがらについて理解する。 | 筆者に関する文学史的なことがらについて理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。 | 目的に応じて，分かりやすく説明しようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容を必要に応じて詳述している。 | 目的に応じて，分かりやすく説明している。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解している。 | 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，作品一つ一つに表れ  ている個性と価値に気付いている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 訓点の働きを理解し，漢文を訓読できるようにする。 | | |
| 言語活動 | 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。〔Ｃの(2)イ〕 | | |
| 教材名 | 漢文入門 | 配当時間 | 3 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　イ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとす  る。 | 漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとしてい  る。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 故事成語の意味を理解する。 | 用例としてあげられている故事成語の意味を理解している。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解する。 | 漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。 | 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違  いなく，過不足なく読み取ろうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。 | 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違  いなく，過不足なく読み取っている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。 | 我が国の言語文化は，中国をはじめとする外国の文化の受容と  その変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 訓点の働きを理解し，漢文を訓読できるようにする。また，故事成語の意味を把握する。 | | |
| 言語活動 | 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。〔Ｃの(2)イ〕 | | |
| 教材名 | 故事成語  　借虎威／蛇足／漁父之利／朝三暮四／管鮑之交 | 配当時間 | 3 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　イ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼう  とする。 | 日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼうとし  ている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容を正確に読み取る。 | 文章の内容を正確に読み取っている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 訓読のきまりや句法について知識を深める。 | 訓読のきまりや句法について知識を深めている。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。 | 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違  いなく，過不足なく読み取ろうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。 | 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違  いなく，過不足なく読み取っている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。 | 漢文を読むことに役立つ，訓読のきまりを身に付けている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 朗読の工夫をしながら，情景と作者の心情の融合した境地を味わう。併せて漢詩の構成などについて理解する。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 漢詩 | 配当時間 | 3 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　ウ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 日本でも愛好されてきた漢詩の名作を関心をもって味わお  うとする。 | 日本でも愛好されてきた漢詩の名作を関心をもって味わおうと  している。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | それぞれの詩の表現している内容・情感を理解する。 | それぞれの詩の表現している内容・情感を理解している。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 絶句・律詩の基本的な決まりについて理解する。 | 絶句・律詩の基本的な決まりについて理解している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み  味わおうとする。 | 人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのか  を捉え，言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み  味わっている。 | 人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのか  を捉え，言葉の美しさや深さに気付いている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解している。 | 読むことに必要な文の組立て（又は，文章の組立て，語句の意  味，語句の用法，表記の仕方）について理解している。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 現代語訳しながらストーリーの展開を把握し，その過程で重要な句法を理解する。 | | |
| 言語活動 | 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Ｃの(2)エ〕 | | |
| 教材名 | 史話  　先従隗始／臥薪嘗胆／晏子之御／鶏鳴狗盗 | 配当時間 | 4 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　ウ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 著名な史話について興味を持ち，内容を深く知ろうとする。 | 著名な史話について興味を持ち，内容を深く知ろうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを話の展開に沿って  読み味わう。 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを話の展開に沿って読み  味わっている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 句法・語法を理解した上で，それぞれの話の歴史的背景や  出典に関する基本的知識を確認する。 | 句法・語法を理解した上で，それぞれの話の歴史的背景や出典  に関する基本的知識を確認している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み  味わおうとする。 | 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違  いなく，過不足なく読み取ろうとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み  味わっている。 | 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違  いなく，過不足なく読み取ろうとしている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解する。 | 言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについ  て理解している。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 孔子の言う「学」と「仁」とを理解し，これが孟子の「仁義」「学問」に展開した様相を把握する。 | | |
| 言語活動 | 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。〔Ｃの(2)イ〕 | | |
| 教材名 | 論語・孟子 | 配当時間 | 3 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　イ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 孔子・孟子の主張の重要性について理解しようとする。 | 孔子・孟子の主張の重要性について理解しようとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら内容を的確に理解  する。 | 簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら内容を的確に理解して  いる。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 句法・語法を理解した上で，儒家の思想について要点を把  握する。 | 句法・語法を理解した上で，儒家の思想について要点を把握し  ている。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。 | 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け，なぜこの文  章を書いたのか，なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとし  ている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容を叙述に即して的確に読み取る。 | 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け，なぜこの文  章を書いたのか，なぜこのように書いたのかなどに迫っている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解する。 | 我が国の言語文化は，中国をはじめとする外国の文化の受容と  その変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 朗読に習熟し，巧みな比喩とその効用を味わいながら，筆者の意図を把握する。 | | |
| 言語活動 | 文章を読んで脚本にしたり，古典を現代の物語に書き換えたりすること。〔Ｃの(2)ア〕 | | |
| 教材名 | 雑説 | 配当時間 | 3 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　イ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 漢文の名文を読み味わおうとする関心・姿勢を持とうとす  る。 | 漢文の名文を読み味わおうとする関心・姿勢を持とうとしてい  る。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 巧みな比喩による論理的な展開に注目しつつ，主張を理解  する。 | 巧みな比喩による論理的な展開に注目しつつ，主張を理解して  いる。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 句法・語法を理解した上で，韓愈の主張とその思想史上の  位置について基本事項を把握する。 | 句法・語法を理解した上で，韓愈の主張とその思想史上の位置  について基本事項を把握している。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。 | 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け，なぜこの文  章を書いたのか，なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとし  ている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容を必要に応じて詳述する。 | 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け，なぜこの文  章を書いたのか，なぜこのように書いたのかなどに迫っている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解する。 | 我が国の言語文化は，中国をはじめとする外国の文化の受容と  その変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。 | 記述の点検 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習のねらい | 桃源郷の状況と，そこに到達できる人間の条件とを理解する。 | | |
| 言語活動 | 文章を読んで脚本にしたり，古典を現代の物語に書き換えたりすること。〔Ｃの(2)ア〕 | | |
| 教材名 | 桃花源記 | 配当時間 | 3 |
| 学習指導要  領の指導事項 | Ｃ　読むこと　イ  伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ｱ)(ｲ) | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 「桃源郷」という言葉の淵源としての話に関心を持とうと  する。 | 「桃源郷」という言葉の淵源としての話に関心を持とうとして  いる。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを話の展開に沿って  読み味わう。 | 文章に描かれた人物，情景，心情などを話の展開に沿って読み  味わっている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 句法・語法を理解した上で，背後にある思想について基本  的な知識を得る。 | 句法・語法を理解した上で，背後にある思想について基本的な  知識を得ている。 | 記述の点検 |

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月 ）の文　　　言に即した評価規準の設定例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 |
| 関心・意欲  ・態度 | 文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。 | 人物，情景，心情などを，どうして書き手がこのように描いて  いるのかを捉え，象徴，予兆などに果たしている効果に気付こ  うとしている。 | 行動の観察 |
| 読む能力 | 文章の内容を必要に応じて詳述する。 | 人物，情景，心情などを，どうして書き手がこのように描いて  いるのかを捉え，象徴，予兆などに果たしている効果に気付い  ている。 | 行動の分析  記述の確認 |
| 知識・理解 | 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ  いて気付き，伝統的な言語文化について理解する。 | 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 | 記述の点検 |